

2022年 2月13日 昇格考試実施方法変更について

急激な環境の変化に伴い、昇格考試実施方法を変更します
詳細は次ページ意向を参照してください
昇格考試実施可否最終判断：2月6日

東京都UNITY運営委員会
東京都考試委員会

■当日の感染防止対策マニュアル

①	「3密」にならない様に対策を行うことが大前提
②	「集合」の整列の際は、各々の1m以上間隔をあけ配置には十分配慮する。引率者の会場内入室は禁止
③	換気が悪く、密集になり易い「更衣室」「トイレ」は使用時間と人数を制限する
④	通気性を配慮し、出入口、窓などを開放する
⑤	更衣室・控室内でも1m以上離れた距離を保つように努める
⑥	全員：移動中・会場内常時マスク着用の義務 ※会話はできるだけ避けること
⑦	マスク着用における考試実施中、熱中症等の注意喚起を適宜行う：考試員
⑧	消毒用アルコールの設置は「会場出入口」「考試員控室」「教務控室」
⑨	入室の際に体温測定を実施（参加者・役員・スタッフ全員検温）⇒37.5℃以上会場入室・受験・考試員を断る 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人も同様とする 受験受付：代表者のみ行う。受付場所は透明ビニールカーテンなどで遮蔽、ある程度の距離も保つこと
⑩	会場内の人員制限が必要だと判断した場合は、追連絡を事前に行う
⑪	チェックシートは関係者全員提出のこと
⑫	提出を求めた書面は、少なくとも1月以上、資格担当責任者が保存する
⑬	考試終了後に、関係者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、開催自治体の衛生部局とあらかじめ検討する

昇格（昇段・昇級） 考試技術審査について！（UNITYガイドライン原文抜粋）

防具は所属によっては個人所有とは限らないため、使用しない

「単独動作」の確認を主体とした審査形式とする

審査要領は従来の審査方法をベースとし、審査用紙も通常の審査用紙で対応する

- | | |
|---|---|
| 1 | <p>単独で行う科目（基礎、基本動作など）は通常通りの審査を行う</p> <p>⇒ 運歩、受身、移動攻防などは間隔が狭くならないように実施前後も含めて配慮する</p> |
| 2 | <p>相対科目（法形、単演相対、組演武など）について</p> <p>実技審査を単独の動作（法形は2メートル以上間隔を開けた相対の状態から開始する）により実施する</p> <p>①移動攻防技（相対）</p> <p>指定された動作を単独（守者動作）で行い審査する。</p> <p>②単演基本法形相対</p> <p>（天地拳第一系・第二系、龍王拳第一系、義和拳第一系の相対が対象）</p> <p>攻者、守者の両方の動きをそれぞれ単独で行い審査する</p> <p>⇒ 両方の動作を総合的に評価する</p> |

昇格（昇段・昇級） 考試技術審査について II（UNITYガイドライン抜粋）

防具は所属によっては個人所有とは限らないため、使用しない

2

③法形

考試員が抽出した剛法、柔法各 5 技を**守者、攻者が 2 メートル以上間隔を開けた状態**から、攻者による攻撃動作に対して行われる**守者の動作**により審査する

- i) 受験者の人数によっては考試員が攻者の動作を行っても良い
- ii) **攻者の動作は守者に触れない形で必要な攻撃**のみを行い、守者の反撃に対する攻者の動作（受けや受身、連反攻など）は行わない
- iii) 審査科目の抽出について、守者が攻者から離れて動作を行うことを念頭に、明確に守者の動作が確認できるように配慮する
- iv) 考試員は、受験者に守者動作のスピードを落とさせるとともに、構成される各部分の動作を大きくするように指示する
- v) 審査にあたっては枝葉末節ではなく、技の成立条件を意識した審査、採点による評価を行う
- vi) 相対の攻防としての理解度を必要に応じて確認する

※少年部 1～8 級、一般 4～6 級は審査要目に定められている法形科目（少年部は剛法、柔法）を
守者、攻者が 2 メートル以上間を開けた状態から、攻者による攻撃動作に 対して行われる守者の
動作により審査する

昇格（昇段・昇級） 考試技術審査についてⅢ（UNITYガイドライン抜粋）

防具は所属によっては個人所有とは限らないため、使用しない

2	<div data-bbox="165 192 420 264">④組演武</div> <div data-bbox="229 271 2458 342">すべての構成を指定された順番に従って単独での守者動作で行わせ、審査する</div> <div data-bbox="165 364 2458 1199"><div data-bbox="191 364 1554 435">i) 受験者が一人ずつ、単独での守者動作を行う</div><div data-bbox="267 442 1783 514">(大会の単独演武と同様に攻者無しの単演形式で行う)</div><div data-bbox="165 521 2420 664">ii) 考試員による「(1) (3) (5)」構成の守者、「(2) (4) (6)」構成の守者の指定を行わない</div><div data-bbox="267 671 1528 742">(受験者は「全ての構成」の守者動作を行う)</div><div data-bbox="165 749 2458 892">iii) 結手、始まり・終わりの合掌礼、残心も含めて、開始から終了まで途中で止めない</div><div data-bbox="165 899 2254 971">iv) 単演基本法形相対が指定されている構成は通常の単演基本法形を行う</div><div data-bbox="165 978 2458 1120">v) 守者動作は科目表「昇格考試実施要目」の「※守者は～を行う」も含めた内容を行う</div><div data-bbox="165 1128 1745 1199">vi) 相対の攻防としての理解度を必要に応じて確認する</div></div>
	<div data-bbox="165 1220 420 1292">⑤運用法</div> <div data-bbox="229 1299 1057 1370">年齢にかかわらず実施しない</div>